

# 育成 モノづくり人材 Vol. 16

は毎年100%だ。豊橋長(とよひさなが)という。学科は機械系、電気電子系、建築・土木系で計7クラス。モノづくりを担う人材を育成する観点から、いづれの学科も授業の半分は専門科目に充て、実業大学の「全国高等学

校ビジネスアカデミー」(豊橋長)といふ。課題研究には、生徒が製品を発案する授業もある。ふち形状を工夫し風に飛ばされにくく、いわゆる「エアロディ」が、14年に商品化した。また、エコカーや「ボット」を製作して競技

子園」で13年のグラ

紙業(愛知県豊橋市)

大会に出場するチーム  
もある。豊橋ライオンズクラブの依頼で中古の車いすを修理して東南アジアに送るのも伝統だ。電子工学科の生徒は発光ダイオード(LED)を使った時

計を学校に設置。クリスマス時期は近隣駅のイルミネーション装飾にも取り組む。地元企業との関係も、地元企業との関係も、大切にしている。希望する生徒は自動車部品製造やステンレス溶接、建築などの職業体験ができる。また工作

長)も心かけ運動部  
が中心となつて自主的に毎朝学校周辺を清掃するのも長年の伝統だ。

# 課題研究で製品を発案

部の伝統校だ。卒業生は2万人以上で、地元産業界の信頼は厚い。近年は卒業生の8割が就職を希望し、求人倍率は6倍以上。内定率習や課題研究を重視する。資格取得も盛んで、「資格ゼロで卒業する生徒はない」(吉田

【DATA】▷校長=吉田豊氏▷所在地=愛知県豊橋市▷学科構成=(全日制)機械科、電子機械科、電気科、電子工学科、建築科、土木科、(定時制)機械科▷総定員=280人▷主要設備=工作機械、溶接機、測定機器、コンピューターなど▷主な進路=15年3月の全日制卒業者257人中、就職は209人(家業含む)で6割が豊橋市と県内周辺市の企業。進学は国公立大2人、私立大20人、短大高専4人、専門学校12人



吉田校長

授業では実習や課題研究を重視する

機械メーカーの西島（愛知県豊橋市）で指導を受け技能検定に合格した教員もいる。吉田校長は「社会で通用する人を育てる」を基本方針とし、マナーエducationなどにも気を配る。「地域から必要とされる学校」（吉田校長）も心がけ、運動部が中心となって自主的に毎朝学校周辺を清掃するのも長年の伝統だ。

